

問 野外イベントなどで乳幼児を連れた保護者が、授乳やオムツ交換ができるよう、移動が可能なたんぽう式の赤ちゃんの駅を、当町でも導入する考えは。

町長 近年町内でも野外イベントの開催が増えてきている。子育て世代の支援としても積極的に検討し、なるべく早く導入したいと考える。

▽移動式赤ちゃんの駅



栗原京子議員

答 子育て支援として導入に向け検討

移動式赤ちゃんの駅導入の考えは



駅(テント)の中で授乳やおむツ交換ができます
～写真は秋田県能代市の移動式赤ちゃんの駅～



問 妊娠から出産・子育て期に対する支援を切れ目なく行う、妊娠・出産包括支援事業について町の現状と課題を伺う。

町長 妊婦健診、乳幼児健診、妊産婦・乳幼児相談や保育ママ、保育園、放課後児童クラブ、各種経済的支援も含む児童福祉事業や家族手帳の贈呈を行っている。また本年度から子育て世代包括支援センターが新設。助産師や保健師による切れ目のない支援を行っている。課題は稲取保育園の保育児童枠の拡充など。保護者の育児と仕事の両立を支援し、負担軽減を図っていくことだ。

問 産後うつや児童虐待の兆候は妊娠からそのサインを出している。同じ専門職がずっとかかわ

▽妊娠から出産・子育て期の支援

ることにより、気軽に相談やアドバイスを受けられる。また産後2か月間は特に細やかに手厚くケアして頂きたい。

町長 産後ケアは重要と考える。心安らかに生活できる環境を整えていきたい。

問 乳幼児健診に5歳児健診を追加して頂きたい。5歳児健診で発達障がいを見つけ易いと云われている。就学や保育園での生活、まわりの対応がその子にとってより良いものになるよう、その子の能力を十分伸ばせるようお願ひしたい。

町長 良い事業だと考える。財政が許せば行いたいと考えるが、担当課と相談、検討していきたい。



町長に聞きました
8人が一般質問

- 飯田桂司 議員 -
▽町内環境整備について
- 栗原京子 議員 -
▽妊娠・出産包括支援事業の取組み
▽移動式赤ちゃんの駅導入
- 鈴木 勉 議員 -
▽選挙の投票率向上に向けて
- 笠井政明 議員 -
▽町内の公園等の管理
▽地域おこし協力隊
▽情報発信、データ利活用
- 藤井廣明 議員 -
▽奨学金について
▽町おこしについて
- 稲葉義仁 議員 -
▽町道稲取片瀬線
▽防災対策について
- 西塚孝男 議員 -
▽地震対策等について
▽移住定住について
- 山田直志 議員 -
▽住宅耐震化の推進
▽火災発生での課題は
▽職員の勤務のあり方
▽人口ビジョン総合戦略

▽焼却施設の延命化工事

問 ごみ処理焼却施設延命化工事に伴う町の負担は。



飯田桂司議員

答 環境センター改修工事で町の負担は

ごみの減量で負担の軽減を図りたい

町長 東河環境センターのごみ処理施設については、平成15年から稼働して13年が経過した。施設の老朽化に伴い、今回延命化工事を実施することにした。河津町との負担割合は、過去10年間の平均一般廃棄物処理量を基準とすることが既に決定している。当町の負担割合は59.3%。

問 施設の延命化工事に伴い、ごみ収集等の取り組み方はどう変わるのか。

町長 人口減少によるごみの量の自然減もあるが、マイバックやマイ箸の利用によるライフスタイルの見直しや、補助金を活用した家庭用電動生ごみ処理機購入を引き続き町民にお願いする。ごみの処理量で河津町との負担割合が変わるので、町として更なるごみの減量に取り組んでいきたい。



ごみの減量に取り組みれば町の負担も減る
～役場にある古着の回収ボックス～